

たより

『美紗の会』 ニユース

第21号

平成八年十月一日

発行者 「美紗の会」
☎03-3441-2726
編集責任者 川邊紀恵

第十四回 ゆかたざら

七月三日 於 くつろぎ

平成八年七月十三日美紗の会ゆかたざら催された。師匠のイベントの日は、天気が悪いというジメジメが忘れられたかのような青空の快晴のなか、白金村から花の銀座へ――弟子の藤沢さんのご厚意で、銀座にはひとつしかないうちという舞台付きのお座敷が本日の会場である。ちよつと早めに着いたから銀ブラをしたとか、下のピヤホールで一杯ひっかけたとか、楽しい話で和気あいあい。そして以前のメンバーであった佐々田さん、小西さんがそれぞれ坊やを連れて陣中見舞。

すつかりたくましい母親ぶりに師匠の嬉しそうな顔が印象的。おなじみの加藤マネージャーのふんわりムードの名司会でいよいよ幕があく。今回は久々の大型新人と噂される木村さんが初登場、自作の都々逸を弾き語りといと入門

し、超過密なスケジュールをぬってのおけいこで、あぐらをかいての大熱演に仕事仲間の沢山の応援団は、ヤンヤの拍手。まずは華やかなデビューぶり。今回の立役者藤沢さんは二回目の出演とあって余裕たっぷり、大久保さんの糸で気持ち良さそうに「槍さび」を、新美女美女コンビの照沼、日比野さんもあてやかに「葉ざくら」を、仲の良い嫁しゅうとめコンビの増田さん親子は七夕にちなんで「文月」、「嘘とまこと」に、飛田、山根コンビと息の合った演奏が続き三時の休憩。演奏中は静かだった会員も水を得た魚のごとく、冷たいビールと会主の母上の心尽くしのおつまみで輪になって遠足のようなにぎやかさ、お客様ともどもの和やかムードは美紗の会ならではの光景である。番組も順調に進み新会長に就

任した岡崎さんの、愛嬌たっぷりの「きりぎりす」。「ごりえ」を唄いたいと思念にけいこした山根さん。思っているの浴衣に身を包んで女性陣の美声飛田さん、川辺さん、大久保さんが夏の風情をしっかりと。けいこよりお酒の赤坂組、本郷さん、嘉本さん、佐久間さんも舞台にあがるとさすがキャリアの落ちついた唄いっぷり。今回の長唄は「越後獅子」ですつかり名コンビの小高さん、増田真知子さんの唄に岡崎さん、師匠、そして長唄三味線を修行中の田中さんの替で、にぎやかにビールの酔いもさめる程の大熱演！ しておなじみの菊音さんの新内小唄「蘭蝶」心しての乙なのど。最後はふじ丸で見せて下さった師匠と飛田さんこと、花柳千寿文師匠による息の合ったプロの芸にしばしうっとり客席。浦こぐ舟」は芸居がかった色っぽい風情を、「淀の川瀬」は粋な船頭をいなせに踊りわける千寿文師の芸は、いつも美紗の会を格調高いものにしてくれる。そんな満足感が会長のあ

いさつ、会主のしみじみした話の中にじみ出る。すつかり美紗の会のおかえカメラマンになったかのような宇田さんの記念撮影も終え、いつもの手づくりの料理にかわってアサヒビール自慢の洋風メニューですつかりリラックス。演奏中は、緊張した面持ちの会員が、カラオケでは、身ぶり手ぶりの唄いっぷりに銀座初デビューの美紗の会は、大いに若返ったようであった。

後期スケジュール
九月十八日 岐阜県文化ホール「未来会館」においてオリベイズム産業文化振興連合会
アトラクションとして
端唄「織部ごのみ」の作曲発表及び演奏
十月二十三日 国立劇場
芸術祭参加 清麗会
閑崎ひで女 「堀川」
地方演奏
十一月十九日 国立劇場
花柳龍二会
「紀洲道成寺」「水鏡」
地方演奏



昨年の夏庭の花梨の木にトックリバチという蜂がお酒の徳利とそっくりの巣を作ったのを見つけて驚いていたら、今年の夏は別の蜂の訪問を受けた。現在も進行中の話である。週末の朝二階のベランダで布団を干していた娘が「パパ、蜂がいるよー」と叫ぶので行ってみると、成程懐かしい奴が一匹軒先をへりの様にホバリングしている。最近では狭窪界限で余り見られなくなったオオハキリバチという中型の蜂である。蜜峰よりは大きくて頭と腹部は黒、胴体が黄色で、丁度熊ん蜂をスマートにした様な奴だ。

気が付かなかったただけなのだ。さてその処置について、悩んでいる所である。穴に殺虫剤を注入して塞いでしまえば一巻の終りだろうが、折角何十年振りかて狭窪へ無い戻った昔の仲間達をそう簡単にやつつけてよいものか。蜂は本来こちらから攻撃しない限り、人間を刺すことはないし、そもそも何も悪いことをしている訳ではないのだから。

蜂との共生 佐久間俊治

一方娘からは「恐くて表へ出られないから早く何とかしてよ。」とせつつかれる。幸い此の所姿を見せないのは、もう子育てが終って餌を運ぶ必要がなくなったからかも知れない。悩んだ拳句の取り敢えずの結論は、娘は十月に結婚して家を出る予定なので、それ迄は網戸を閉めてベランダへ出ない様にして貰い、私が一人になつたら、当分はハキリバチ君達と同じ屋根の下で共同生活をしながら先方の出方を見ると云うものである。会社では災害時の危機管理を論じて、迅速に行動すべしなどと偉そうなことを云っている割には頼りない限りだがどこかの政府と同じで問題の解決を来年迄先送りしたのである。

恐らくサツシユの製造過程であいた穴を塞いであったプラスチックの栓が風化して外れたのだろう。しかも娘の部屋の窓枠の小穴にも別の蜂が入りしているのを目撃した。何のことはない、我が家の二階の窓枠の上部は殆どハキリ君達に占領されていたのに

何れにせよ蜂達にただで庇を貸しても母屋を取られるようなことはないだろうと思う。(以上)

会員紹介

飛田千枝子さん

今回は美紗の会でいつも華麗な踊りを見せてくれる花柳千寿文師匠こと飛田千枝子さん。何かの会で、お目にかかる必ず教えられることのある、女として母としての大先輩は、東京青山生まれの江戸っ子。

当時青山南町と呼ばれた現在の住友銀行のあたりにあった家から、名門青南小学校へ行った。学校の近くにあって今の根津美術館の庭でよくざりがにとり等をして遊んだこと、戦争で中止になった東京オリンピックの五輪のネオンサインが美しかったことなど、良き時代の青山の思い出が沢山あるそうだ。

その後結婚して三人の男の子を育てる。子供は公平にと皆立教小学校へ入れ、それぞれ成人して、二人は教師に一人は会社員になって家庭を

持っているとのこと、賢母の評判はあちこちに鳴りひびいて息子さん達の母校立教小学校の父母教室で子育てについての講演をした経験もある。踊りは、六才の六月六日から始めて、子育ての間もおけいこは欠かさず続けていたけれど、常に家庭は最優先。子供が育ち上がるまでは、子供に目を向けていないと必ず後で自分に返ってくると思ひ、舞台上立つのは我慢を我慢したこと、何でも出来る人というの、要所要所をキチッとおさえられる人だなと

感心する。小唄を始めたきっかけは娘時代に習っていた三味線をもう一度してみよう、菊音さんに修理に出した時に、誰か先生はと聞いたら、菊音さんの二階で師匠が教えていると紹介され入門したとのこと。

この夏休みは必ず一曲弾けるようになろうと自分で宿題を出したそう、ただ毎日暑い暑いといつてゴロゴロしていた私は、感心するばかり。現在は、ご主人と、長男一家と同居しており、同居の秘訣は？と聞いたら何事も反対しないこと。その人の良い所をほめること等、現代は核家族が多いが家の中に、こんな母や、祖母がいたらどんなにか心強く、なごやかな毎日が過ごせるかと、ご家族がうらやましくなった。今一番楽しいことは？と質問したら先生の自宅へ伺っておけいこをする

ことだそう、先生も師匠眞利につきましますね！毎日真面目にコツコツ努力して、あまりよくよくしないので、謙虚に生きていきたいという飛田さん、これからも良き先輩としてご指導下さい。最後に先生からの飛田さん評を書いて頂きました。

「飛田先生に最初にお願いしたのは平成三年の夏の初めだったと思います。もう汗ばむ季節なのに、きちんと着物姿でこあいきつなきてどちらがいったい師匠？とまどつたことを覚えてます。まだまだ未熟な芸で娘のような年の私を師匠として大切に敬って下さって本当に穴があつたら入りたい思いで今ま

でお付き合いたいだいていいますが、飛田先生との出逢いは私にとってもかけがえのない宝といつも感謝しています。花柳寿楽師のもとで娘時代から修業なされ品格のある芸風は素質もさることながら、やはり真摯なけいこの積み重ねの賜物、そして何よりも謙虚なお人柄ゆえに、飛田先生の一挙一動を垣間見ながらいつもお手本にさせて頂いてます。幸せなご家庭に恵まれその上ずつと芸事を続けていらしてなんてお幸せな人生……とうらやましく思います。その環境を作られたのは、やはり並大抵のご苦労ではなかつたことと思います。でも少しもそれを感じさせず涼やかな笑みを絶やさないお人柄に理想の女性像を重ねてしまっています。一つの事に秀でれば立派——と甘やかしていた自分が恥ずかしくお料理、お裁縫、茶道、織り物……なんでも素敵にこなしてしまふ飛田先生はもしかしたら宇宙人ではないかと思つてみたくもありません。

でもいつぞや国立大劇場での「新口村」の忠兵衛を踊らされた飛田先生を思い出します。逃げ道のないせつぱつまつた梅川との道行の場面で忠兵衛の絶望的な瞳の奥に一途な情熱の光を見たのです。それはきつと飛田先生の踊りへの想いだつたと今も私の心に刻まれています。これからも乙女の頃からの熱い想いをおけいこを通して、又舞台を通して拝見させて頂きたいと思つてます。

永遠のファンとして！

(文責 川邊)

去る八月二七日―九月四日の約一週間ドイツの古城とロマンティック街道及び古都ウィーンを妻とふたりで旅行した。学生時代に習ったドイツ語を思い出しながらの旅はちよつとした失敗もあり、今思い出すと結構面白い弥次喜多道中であつた。私はずっとと旅行が趣味で仕事から解放されたら夫婦で世界中を旅行するつもりだが、最近妻の足腰が弱くなりこのままでは私の定年退職後の夫婦での外国旅行は難しくなるのではないかと懼れ、例年より多めの夏休みを取って出かけた次第である。

欧州諸国の中ではフランス、イタリア、イギリスはいずれも興味深い大好きな国であるが、第二次大戦中に感受性の強い小学生であつたせいも当時の同盟国ドイツには昔から好感と親しみをもっている。小綺麗な大都市、勤勉な国民性、美味しい酪農品、それにドイツビールとワインいづれも私の「お気に入り」である。幸い妻もドイツの食事がこのほか気に入る、楽しい旅になった。

私は過去数回ドイツを訪れているが殆ど商用であり今回のように私的な旅となると、同じ国ながら以前とかなり違った印象を受けた。例えば、ビジネスで出会うドイツ人は背が高く、金髪でスマートな人が多かったが、観光地に出会った人たちは中年度の庶民が多く、でっぷりと太つたおじさんとおばさんで日本のおぼろさんと大差なかつた。そして服装から見るとドイツ

ツより日本の方がより豊かであるように見えた。特に若い女性の服装は日本のOLが一番贅沢である。ロマンティック街道をレンタカーでドライブしたが、道路標識にドイツ語と同時に日本語で「ロマンティック街道」と併記してあるのは驚いた。我々同様名前に惹かれてやってくる日本の観光客が多いようだ。元々この道はローマに通ずる道であつたが産業革命の時代、近代化から取り残されて、中世の町並をそのまま残して救っていたのを町興しのため「ロマンティック街道」

と名付け観光地にしたものようにある。城壁に囲まれた町ローテンブルグはその典型であり、城壁を入ると市庁舎の前のマルクト広場を中心に教会やレストランやホテルが建ち中世の町並みそのままの雰囲気がある。お城ではノイシュバンシュタイン城が圧巻である。悲劇の王ルードヴィヒ二世が精魂込めて造り上げただけあつて形態、壁画、厨房制度いづれも当時の最高の技術を集めて造られたのがよく判る。とにかく綺麗である。デズニーが

シンデレラのお城のモデルにした位美しい。しかし考えてみるとこの王様は理想主義者で夢ばかり追つて、人民にとつては名君ではなかつたろうと思う。風光明媚な山の中腹に立つこの城は臣下のものにとつては物資の運搬も大変で不便でいやな城であつたと思う。又ルードヴィヒ王が一代で築いただけあつて外見と壁画はすばらしいが、家具類にはそれほどすばらしいものはない。要するにこの王はええ格好しいで人民泣かせのまま死んでしまったようにおもえる。

ドイツ・オーストリーを旅して

本郷公基

ドイツとオーストリーの城を見て西洋人の権力欲の強さと執念深さに改めて驚愕すると共に淡白な日本人との差異を感じた。また人の上に立つて人を治めることの難しさを痛感した。

しかし、ウィーンの王宮でハプスブルグ家最後の皇帝フランク・ヨーゼフには人間的親しみを感じた。この人は数百年続いたハプスブルグ家を何とか維持しようとして帝国内の国々、民族に対し常に「一致協力して」をモットーに朝早くから夜遅くまで一生懸命働き国民の絶大な信頼と支持を得ていたと言われている。しかし愛妻エリザベットを始め後継者の息子、甥に先立たれ何よりも時代の流れに逆らえず実質的に帝国最後の皇帝となる。いまフランツ・ヨーゼフが生きていれば、EUはもつとスムーズに成立するのではないかと思つたりしている。

お城ではノイシュバンシュタイン城が圧巻である。悲劇の王ルードヴィヒ二世が精魂込めて造り上げただけあつて形態、壁画、厨房制度いづれも当時の最高の技術を集めて造られたのがよく判る。とにかく綺麗である。デズニーが

シンデレラのお城のモデルにした位美しい。しかし考えてみるとこの王様は理想主義者で夢ばかり追つて、人民にとつては名君ではなかつたろうと思う。風光明媚な山の中腹に立つこの城は臣下のものにとつては物資の運搬も大変で不便でいやな城であつたと思う。又ルードヴィヒ王が一代で築いただけあつて外見と壁画はすばらしいが、家具類にはそれほどすばらしいものはない。要するにこの王はええ格好しいで人民泣かせのまま死んでしまったようにおもえる。

ドイツとオーストリーの城を見て西洋人の権力欲の強さと執念深さに改めて驚愕すると共に淡白な日本人との差異を感じた。また人の上に立つて人を治めることの難しさを痛感した。

しかし、ウィーンの王宮でハプスブルグ家最後の皇帝フランク・ヨーゼフには人間的親しみを感じた。この人は数百年続いたハプスブルグ家を何とか維持しようとして帝国内の国々、民族に対し常に「一致協力して」をモットーに朝早くから夜遅くまで一生懸命働き国民の絶大な信頼と支持を得ていたと言われている。しかし愛妻エリザベットを始め後継者の息子、甥に先立たれ何よりも時代の流れに逆らえず実質的に帝国最後の皇帝となる。いまフランツ・ヨーゼフが生きていれば、EUはもつとスムーズに成立するのではないかと思つたりしている。